

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビジネス実務 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術概論 A- I			教員名	吉岡 忍
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ストラテジ分野を中心に、企業活動や情報システムに関する理解を深める。 データベース（データ操作）の基礎についても学習する。 情報活用試験3級と、システムデザインスキルの試験対策を通じて、修了試験合格に向けた実践的な力を養う。				
2. 科目の 到達目標	① ストラテジ分野の基本的な内容を理解し、説明できる。 ② データベース（データ操作の基礎）の基本的な問題が解ける。 ③ 情報活用試験 3 級合格レベル相当。				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	修了試験について、企業活動 経営戦略、マーケティング戦略 ビジネス戦略、技術開発戦略 ソリューションサービス、ビジネスインダストリ データ収集方法、各種アプリケーションソフト QC7つ道具、新 QC7つ道具 データ利活用、ユーザインタフェース 知的財産権、セキュリティ関連法規、電子メール 表計算ソフト、データベース基礎① データベース基礎②、企業会計基礎① 企業会計基礎② 模擬試験（情報活用試験 3 級） 模擬試験（情報活用試験 3 級） システムデザインスキル試験対策、期末試験対策、課題提出 期末試験対策			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席率・授業態度・提出物 期末試験の評価（情報活用試験 3 級合格者は加算）				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」（ウイネット） 「キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 08 年」（技術評論社）				
6. 参考文献	「J 検 情報システム完全対策公式テキスト」（JMAM）				
7. 履修上の 留意事項	欠席者には学習範囲をメールで通知する。各自、該当範囲のスライド作成・テキスト読解・過去問演習を済ませておくこと。次回の授業は前回の内容を理解している前提で進行するため、自習して臨むことが望ましい。				
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビジネス実務 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術概論 A-Ⅱ			教員名	吉岡 忍
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ストラテジ分野を中心に、企業活動や情報システムに関する理解を深める。 データベース（構造・設計の基礎、データ操作の応用）についても学習する。 システムデザインスキルの試験対策を通じて、修了試験合格に向けた実践的な力を養う。				
2. 科目の 到達目標	① ストラテジ分野の応用的な内容を理解する。 ② データベース（構造・設計の基礎、データ操作の応用）、アローダイアグラム等の問題が解ける。 ③ システムデザインスキル、修了試験合格レベル相当。				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	データベース応用① データベース応用② データベース応用③、UI/UX デザイン、情報倫理 システム監査、内部統制、アローダイアグラム ファシリティマネジメント、サービスマネジメント 状態遷移図、労働基準法、その他の法規 企業会計応用① 企業会計応用② 企業会計応用③、標準化、 線形計画法、在庫管理、需要予測、ゲーム理論 修了試験対策 修了試験対策 システムデザインスキル試験対策 システムデザインスキル試験対策、期末試験対策、課題提出 期末試験対策			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席率・授業態度・提出物 期末試験の評価（修了試験合格者は免除、システムデザイン スキル合格者は加算）				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」（ウイネット） 「キタミ式イラストIT塾 基本情報技術者 令和08年」（技術評論社）				
6. 参考文献	「J 検 情報システム完全対策公式テキスト」（JMAM）				
7. 履修上の 留意事項	欠席者には学習範囲をメールで通知する。各自、該当範囲のスライド作成・テキスト読解・過去問演習を済ませておくこと。次回の授業は前回の内容を理解している前提で進行するため、自習して臨むことが望ましい。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術演習Ⅰ			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	IPA 認定免除対象科目履修講座 情報活用検定(J 検)3 級の取得を目指す 試験問題による過去問演習(J 検、修了試験)				
2. 科目の 到達目標	① 情報活用検定(J 検)3 級に合格する事 ② 修了試験の初級問題を解けるレベルに到達する事				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	コンピュータ概論_1 章			
	第2週	コンピュータ概論_2 章			
	第3週	コンピュータ概論_3 章			
	第4週	コンピュータ概論_4 章			
	第5週	コンピュータ概論_5 章			
	第6週	コンピュータ概論_6 章			
	第7週	コンピュータ概論_7 章			
	第8週	コンピュータ概論_8 章			
	第9週	システム開発と情報技術_2 章(ネットワーク)			
	第10週	システム開発と情報技術_3 章(情報セキュリティ)			
	第11週	予備週			
	第12週	予備週			
	第13週	IT 戦略とデータ利活用_4 章(応用数学)			
	第14週	試験対策 1			
	第15週	試験対策 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度				30%
	提出課題				30%
	期末試験(J 検 3 級合格者は免除)				40%
	合計				100%
5. テキスト	コンピュータ概論(ウィネット) システム開発と情報技術(ウィネット) IT 戦略とデータ利活用(ウィネット) キタミ式イラスト IT 塾(技術評論社)				
6. 参考文献	基本情報技術者試験ドットコム				
7. 履修上の 留意事項	各自、予習復習を行う事 課題プリントの提出期限を守る事 J 検 3 級合格者は期末試験を免除とする				
教員実務経験	■有 □無 資格: ネットワークスペシャリスト、安全確保支援士試験(合格)、基本/応用情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験、IT パスポート試験、JavaSE8Gold,Silver,Bronze、Pyhon3 基礎/応用、LinuC 等				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術演習Ⅱ			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	IPA 認定免除対象科目履修講座 情報活用検定(J 検) システムデザインスキルの取得を目指す 試験問題による過去問演習(J 検、修了試験)				
2. 科目の 到達目標	① 情報活用検定(J 検) システムデザインスキルに合格する事 ② 修了試験の初級問題を解けるレベルに到達する事				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	コンピュータ概論_2 週目			
	第2週	コンピュータ概論_2 週目			
	第3週	コンピュータ概論_2 週目			
	第4週	システム開発と情報技術_2 週目			
	第5週	システム開発と情報技術_2 週目			
	第6週	システム開発と情報技術_2 週目			
	第7週	IT 戦略とデータ利活用_2 週目			
	第8週	IT 戦略とデータ利活用_2 週目			
	第9週	IT 戦略とデータ利活用_2 週目			
	第10週	予備週			
	第11週	予備週			
	第12週	予備週			
	第13週	試験対策 1			
	第14週	試験対策 2			
	第15週	試験対策 3			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度				30%
	提出課題				30%
	期末試験(システムデザインスキル合格者は免除)				40%
	合計				100%
5. テキスト	コンピュータ概論(ウィネット) システム開発と情報技術(ウィネット) IT 戦略とデータ利活用(ウィネット) キタミ式イラスト IT 塾(技術評論社)				
6. 参考文献	基本情報技術者試験ドットコム				
7. 履修上の 留意事項	各自、予習復習を行う事 課題プリントの提出期限を守る事 システムデザインスキル合格者は期末試験を免除とする				
教員実務経験	■有 □無 資格: ネットワークスペシャリスト、安全確保支援士試験(合格)、基本/応用情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験、IT パスポート試験、JavaSE8Gold,Silver,Bronze、Pyhon3 基礎/応用、LinuC 等				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	アルゴリズムⅠ			教員名	板橋 幹雄
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	一般的に「アルゴリズム」とは「問題を解決するための手順や計算方法」を指します。この講義においては、プログラミングの基本概念である変数・分岐・繰返し・配列、および、流れ図・疑似言語など基本アルゴリズムの知識習得を目指します。また、基本情報技術者科目 B に出題される問題を読み解く基本レベルを上げる。				
2. 科目の 到達目標	① プログラムを理解し、その動きを流れ図で表記できる ② アルゴリズムの基本的な例題が理解できる ③ 疑似言語を理解し、流れ図から疑似言語へ変換できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	アルゴリズム概略 流れ図 ・流れ図の基本 ・変数と代入文 ・流れ図の解釈 流れ図の基本例題 ・評価を付ける処理 ・平均点等の算出 ・九九表作成 ・文字列の反転 ・配列へのデータ格納 ・2次元配列への集計 流れ図の実践問題 ・配列データの順位付け ・運賃/特急料金を求める 疑似言語 ・疑似言語の記述形式 ・疑似言語のデータ型 ・疑似言語の構造 ・大域変数と外部参照 期末試験対策			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	出席率・授業態度			30%	
	定期試験の評価			70%	
	合計			100%	
5. テキスト	「アルゴリズム解法 流れ図と疑似言語 第4版」リックテレコム				
6. 参考文献	「アルゴリズム×疑似言語 トレーニングブック」技術評論社 「アルゴリズムのキホン」SB Creative				
7. 履修上の 留意事項	アルゴリズムは、週1回の講義です。講義の積み重ねによって知識習得できるものです。欠席した場合は、必ず欠損講義内容を確認し、それを修得しておくこと。そして講義に出席しないと理解できなくなります。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	アルゴリズムⅡ			教員名	板橋 幹雄
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	この後期講義においては、前期に学習した流れ図・疑似言語などのキホンアルゴリズムより難易度が高いアルゴリズムの知識習得を目指します。多種多様なアルゴリズム例題を解き、知識の習得と実力を上げる。また、基本情報技術者科目 B に出題される問題が解けるように応用レベルを上げる。				
2. 科目の 到達目標	① 難易度のある基本例題を理解し解答できる。 ② 難易度のある応用例題を理解し解答できる。 ③ 基本情報技術者試験科目 B のアルゴリズムとプログラミングが解答できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	前期復習 ソートアルゴリズムの種類 探索アルゴリズムの種類 疑似言語のパターン演習 疑似言語の基本例題 疑似言語の応用例題 期末試験対策	 ・処理手順 ・多重選択処理 ・繰返し処理 ・多重繰返し処理 ・最大公約数の算出 ・線形探索 ・バブルソート ・部分文字列の探索 ・マージソート ・ヒープソート ・クイックソート	・選択処理 ・文字のカウント ・2分探索 ・挿入ソート ・リストの作成 ・文字列検索	
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	出席率・授業態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	「アルゴリズム解法 流れ図と疑似言語 第4版」リックテレコム				
6. 参考文献	「アルゴリズム×疑似言語 トレーニングブック」技術評論社 「アルゴリズムのキホン」SB Creative				
7. 履修上の 留意事項	アルゴリズムは、週1回の講義です。講義の積み重ねによって知識習得できるものです。欠席した場合は、必ず欠損講義内容を確認し、それを修得しておくこと。そして講義に出席しないと理解できなくなります。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	プログラミング基礎Ⅰ			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Python の基礎構文と、 構造化プログラミングの基礎を学ぶ。				
2. 科目の 到達目標	① Python の基本文法の習得 ② Python サンプルコードの実装/公開 ③ GitHubCopilot の活用				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	つみトレ 1 章:トレーニングを始める前に つみトレ 2 章:基本的なデータと計算 つみトレ 3 章:命令と条件分岐 サンプルコード実装 1 つみトレ 4 章:データの集まり つみトレ 5 章:処理を繰り返す サンプルコード実装 2 つみトレ 6 章:少し高度なデータ 1 つみトレ 7 章:関数を作る 1 サンプルコード実装 3 Zenn にサンプルコードを投稿しよう 1 Zenn にサンプルコードを投稿しよう 2 予備週 自由課題 1 自由課題 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度 提出課題				50% 50%
				合計	100%
5. テキスト	Python つみあげトレーニングブック(リプロワークス)				
6. 参考文献	基本情報技術者試験ドットコム				
7. 履修上の 留意事項	教科書を丁寧に進めていくので、各自予習をしておく事 課題の提出期限を守る事 期末試験は無しとする				
教員実務経験	■有 □無 資格: ネットワークスペシャリスト、安全確保支援士試験(合格)、基本/応用情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験、IT パスポート試験、JavaSE8Gold,Silver,Bronze、Pyhon3 基礎/応用、LinuC 等				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	プログラミング基礎Ⅱ			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Python の基礎構文と、 構造化プログラミングの基礎を学ぶ。				
2. 科目の 到達目標	① Python の基本文法の習得 ② Python サンプルコードの実装/公開 ③ GitHubCopilot の活用				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	GitHubCopilot の使い方 つみトレ 8 章:クラスを作る 1 つみトレ 8 章:クラスを作る 2 サンプルコード実装 1 つみトレ 9 章:ドキュメントとライブラリ 1 つみトレ 9 章:ドキュメントとライブラリ 2 サンプルコード実装 1 つみトレ 10 章:エラーと例外処理 サンプルコード実装 1 Pyxel でゲームを作ろう 1 Pyxel でゲームを作ろう 2 Pyxel でゲームを作ろう 3 予備週 自由課題 1 自由課題 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度			50%	
	提出課題			50%	
				合計	100%
5. テキスト	Python つみあげトレーニングブック(リプロワークス)				
6. 参考文献	基本情報技術者試験ドットコム				
7. 履修上の 留意事項	教科書を丁寧に進めていくので、各自予習をしておく事 課題の提出期限を守る事 期末試験は無しとする				
教員実務経験	■有 □無 資格: ネットワークスペシャリスト、安全確保支援士試験(合格)、基本/応用情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験、IT パスポート試験、JavaSE8Gold,Silver,Bronze、Pyhon3 基礎/応用、LinuC 等				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	情報技術概論 B- I			教員名	山口 祐生
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 マネジメント全般についての理解を深め、将来的に IT を積極的に活用できる人材を目指すための基礎を身につける。				
2. 科目の 到達目標	① IPA 認定講座である本講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得し、IPA の提供する修了試験（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）合格を目指す ② 情報活用試験 3 級合格 ③ システムデザインスキル合格				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	システム化の方向性 ① 要件定義 ② 要件定義 ③ プロジェクトマネジメント ④ プロジェクトマネジメント ⑤ プロジェクトマネジメント ⑥ プロジェクトマネジメント ⑦ プロジェクトマネジメント ⑧ プロジェクトマネジメント ⑨ プロジェクトマネジメント ⑩ プロジェクトマネジメント ⑪ プロジェクトマネジメント ⑫ プロジェクトマネジメント ⑬ プロジェクトマネジメント ⑭ 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 （内容・評価の 観点・ウェイト 等）	出席率 授業態度 期末試験の評価			10% 30% 60%	
	合計			100%	
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 8 年」（技術評論社）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術概論 B-Ⅱ			教員名	青木 貴宏
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 主に開発技術全般についての理解を深め、将来的に IT を積極的に活用できる人材を目指すための基礎を身につける。				
2. 科目の 到達目標	① IPA 認定講座である本講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得し、IPA の提供する修了試験（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）合格を目指す ③ システムデザインスキル合格				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	システム開発技術① システム開発技術② システム開発技術③ システム開発技術④ システム開発技術⑤ システム開発技術⑥ システム開発技術⑦ システム開発技術⑧ システム開発技術⑨ 過去問対策 ⑩ 過去問対策 ⑪ 過去問対策 ⑫ 過去問対策 ⑬ 過去問対策 ⑭ 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 （内容・評価の 観点・ウェイト 等）	出席率				10%
	授業態度				30%
	期末試験の評価				60%
	合計				100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」（ウイネット） 「キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 8 年」（技術評論社）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビジネス実務 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	ネットワーク・セキュリティ基礎			教員名	小川 孝志
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Linux 端末および BB ルータを用いた演習を通して、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどネットワークの基礎概念を理解する。 あわせて LAN 構築、通信確認、基本的なセキュリティ意識を身につけ、ネットワークの基本動作を実機操作により体験的に学習する。				
2. 科目の 到達目標	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの役割を理解し、Linux の基本操作および通信確認コマンドを用いてネットワーク状態を把握できるようになる。 また、BB ルータを用いた基本的な LAN 構築を通して通信の仕組みを理解し、ネットワーク利用における基本的なセキュリティ意識を身につける。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	実習環境準備 Linux ユーザ作成、OS 更新、IP 確認 IPv4 基礎①・IP アドレスの構造・ネットワーク部とホスト部 IPv4 基礎②・サブネットマスクと CIDR 表記の理解 IPv4 基礎③・DGW の役割・ルーティングの概念（基礎） 端末 IP 設定演習・固定 IP 設定（Linux）・設定変更と通信確認 疎通確認演習・ping による通信確認・通信不可時の基本切り分け BB ルータ基礎設定・LAN 側設定・DHCP の役割・固定 IP との違い LAN 構築演習①・各自ネットワーク構築・LAN 内通信確立 LAN 構築演習②・設定ミスの再現・原因推測と修正 ポート番号の基礎・代表的サービスとポート・通信の到達と疎通の差 暗号化通信の基礎・HTTP/SMTP/POP と暗号化・ポート番号の関係 セキュリティ基礎・フィッシング詐欺・ランサムウェア・基本的対策 総合演習・IP 理論確認・LAN 再構築・通信確認および簡易切り分け まとめ・到達確認 課題提出・次年度（発展）内容の予告			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	・出席および授業態度 ・実習進捗および課題達成度				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	基礎から学ぶネットワーク（ウィネット）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	本授業では、用語の暗記や表面的な記憶よりも、内容の理解を重視します。理解に不安がある点や疑問点については、授業後を含め、適宜質問することで学習を深めてください。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビジネス実務 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	IT リテラシー			教員名	田中 良子
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	学校生活に必要な基本的なパソコンスキルを学ぶ。また、メールの送り方やクラウドサービスの使い方など、社会に出てからも役立つ IT リテラシーを養う。				
2. 科目の 到達目標	① パソコンの基本的な操作を理解し、指示通り操作ができる。 ② クラウドサービスの特徴を理解し、ファイル操作等ができる。 ③ IT リテラシーについて理解し、セキュリティやモラルを遵守できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	コンピュータの起動、基本操作、クラウドサービスについて Gmail・Google カレンダー・Meet① Gmail・Google カレンダー・Meet② Google ドライブの使い方とドキュメントの共有方法 Google スライド、 Google スプレッドシート Google マップ、Google フォト、Google フォーム Google サイト 情報のセキュリティと情報モラル① 情報のセキュリティと情報モラル② コンピュータの基本① コンピュータの基本② コンピュータの基本③ AI について① AI について② まとめ			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中の課題 授業中の態度			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「Google Workspace 完全マニュアル」(桑名由美、秀和システム) 「高校の情報Ⅰが 1 冊でしっかりわかる本」(鎌田高德、かんき出版) 「Scratch ではじめる機械学習」(石原淳也・倉本大資、オライリー・ジャパン)				
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	文書作成 B			教員名	青木 貴宏
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Microsoft Office Specialist（MOS）試験科目のうち、「Word」に合格できる力を身につける。 さらに、試験合格だけではなく、素早い操作方法や便利な機能を修得することで、Word を使いこなす力・応用力を習得する。				
2. 科目の到達目標	① Word の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② Microsoft Office Specialist Word に合格できるスキルの習得 ③ 迅速かつ正確なタイピングスキルの習得				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	基礎知識の習得 文書の管理 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 表やリストの管理 参考資料の作成と管理 グラフィック要素の挿入 グラフィック要素の書式設定 文書の共同作業の管理 模擬問題① 模擬問題② 模擬問題③ 模擬問題④ 模擬問題⑤ 総復習 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席・態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	「Microsoft Office Specialist Word365 対策テキスト＆問題集」 （FOM 出版）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	データ活用 B			教員名	青木 貴宏
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Microsoft Office Specialist（MOS）試験科目のうち、「Excel」に合格できる力を身につける。さらに、試験合格だけではなく、素早い操作方法や便利な機能を修得することで、Excel を使いこなす力・応用力を習得する。				
2. 科目の 到達目標	① Excel の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる。 ② 文書作成、書式設定、表の作成、参考資料の作成、図形の活用ができる。 ③ Microsoft Office Specialist Excel に合格できるスキルの習得。				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	基礎知識の習得 ワークシートの管理 ブックの管理 セルやセル範囲のデータ管理 テーブルとテーブルのデータの管理 数式を使用した演算の実行 関数を使用した演算の実行 グラフの管理 模擬問題① 模擬問題② 模擬問題③ 模擬問題④ 模擬問題⑤ 総復習 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 （内容・評価の 観点・ウェイト 等）	出席・態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	「Microsoft Office Specialist Excel365 対策テキスト&問題集」 （FOM 出版）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■T スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビジネス実務 □デザイン	
前期					
授業科目名	Web 制作基礎（エキスパート）Ⅰ			教員名	曾我 政年
対象学年	1	授業数	2 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	HTML5 と CSS に関する基本的な知識と実装力を身につけながら、「Web クリエイター能力認定試験（エキスパート）」の取得を目指す。				
2. 科目の 到達目標	① HTML と CSS の記述を理解する ② 「Web クリエイター能力認定試験（エキスパート）」の合格				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	環境構築・HTML の基礎知識 エディタの使い方、基本的マークアップの記述 1 基本的マークアップの記述 2 基本的マークアップの記述（C S S 編）1 基本的マークアップの記述（C S S 編）2 HTML、CSS の復習 Web クリエイター教科書（第1章～第2章） Web クリエイター教科書（第3章～第4章） Web クリエイター教科書（第5章～第6章） Web クリエイター教科書（第7章～第8章） Web クリエイター教科書（第9章） Web クリエイター教科書（サンプル問題） エキスパート模擬問題(実習) エキスパート模擬問題(実習) 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席			30%	
	授業中に行う課題の評価（練習問題）			20%	
	Web クリエイターの試験合格 または 定期試験			50%	
	合計			100%	
5. テキスト	よくわかるマスター改訂版 Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応 エキスパート 公式テキスト発行：富士通ラーニングメディア Web クリエイター能力認定試験（HTML5 対応版）エキスパート 問題集 発行：サーティファイ				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の 留意事項	Web クリエイター（エキスパート）に合格すれば期末試験は免除。				
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビジネス実務 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	Web 制作基礎（エキスパート）Ⅱ			教員名	曾我 政年
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	HTML と CSS の理解を深め WordPress でのサイト制作力を身につける				
2. 科目の 到達目標	① display:flex と grid を用いたサイトデザインを構築する ② media_queries を用いたフレキシブルなサイトを構築する ③ WordPress の仕組みを理解する				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	イントロダクション・前期の復習 display:flex の使い方 display:grid の使い方 display:grid の使い方 display:grid を用いたページ制作 media_queries の使い方 media_querie を用いたページ制作 1 media_querie を用いたページ制作 2 media_querie を用いたページ制作 3 media_querie を用いたページ制作 4 WordPress の概要 WordPress のインストール、設定。 ダッシュボードの仕組み 投稿ページの作成、メニュー作成 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	授業課題の提出 期末課題			40% 60%	
	合計			100%	
5. テキスト	なし				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の 留意事項	欠席した場合は各自で欠席した授業の内容を確認しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	プログラミング演習Ⅰ			教員名	北村 伸司
対象学年	1	授業数	4/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	プログラミングの概念を理解し、条件分岐やループ処理などの基本的なステートメントの使い方を習得する。 制作するアプリケーションの仕様や完成イメージからシステム設計をすることができるセンスを養う。				
2. 科目の 到達目標	① システム全体の構成を考えることができるようになる ② 基本的なステートメントを理解し使用できるようになる ③ オリジナルアプリケーションを制作できるようになる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	「フォーム」と「オブジェクト」の概念を理解する 変数の宣言とソースコードの書き方を理解する アニメーションの基本を学ぼう デバッグとエラー処理について If・SelectCase ステートメントなど基本構文を理解する If・SelectCase ステートメントなど基本構文を理解する 画像処理について Sub プロシージャと Function プロシージャの使い分けについて Sub プロシージャと Function プロシージャの使い分けについて システム設計の概念とは オリジナル作品のシステム設計をしてみよう オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価				10%
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価				25%
	課題作成・提出の評価				25%
	作品提出の評価				40%
	合計				100%
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	プログラミング演習Ⅱ			教員名	北村 伸司
対象学年	1	授業数	4 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	プログラム全体の処理の流れを理解し、より効率的でエラーが発生しにくいソースコード、処理速度の速いソースコードを意識できるようになる。 グラフィック、サウンド、動画などの使用や外部ファイルへのアクセスの方法も理解する。				
2. 科目の 到達目標	① より効率的にプロシージャを使用できるようになる。 ② グラフィック、サウンド、動画などを取り込んで使用できるようになる。 ③ 納期を意識して計画的にアプリケーションを制作できるようになる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	複数の Form を使用したアプリケーションのメリット・デメリット ループ処理と無限ループについて ループ処理と無限ループについて 再帰処理とは 再帰処理とは マウスイベントの取得と利用方法 キーボードイベントの取得と利用方法 より効率的なエラー対策とデバック処理について インターフェイスのデザインと視認性、操作性について オリジナル作品のシステム設計 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 期末試験対策・期末課題提出			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務 ■デザイン	
前期					
授業科目名	デザインリテラシー I			教員名	小島 智子
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	デザインの基礎を理解し、 Adobe Illustrator, Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ				
2. 科目の 到達目標	①Illustrator の基本的な操作ができる ②Illustrator を操作し、自身の名刺をデザインする				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	オリエンテーション			
	第2週	Illustrator の基本操作			
	第3週	Illustrator 簡単なイラスト作成			
	第4週	Illustrator ペンツールの操作			
	第5週	Illustrator ロゴ制作①			
	第6週	Illustrator ロゴ制作②			
	第7週	Illustrator 名刺制作①			
	第8週	Illustrator 名刺制作②			
	第9週	Illustrator 地図制作①			
	第10週	Illustrator 地図制作②			
	第11週	Illustrator ポストカード制作①			
	第12週	Illustrator ポストカード制作②			
	第13週	Illustrator ブログタイトル画像制作			
	第14週	Illustrator 自身の名刺制作			
	第15週	まとめ			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中での課題の理解度				60%
	授業に取り組む姿勢				40%
	合計				100%
5. テキスト	「これから始める Illustrator の本」(技術評論社)				
6. 参考文献	「レイアウト Illustrator 教室」(ワークコーポレーション) 「デザインのつくり方」(クリエイティブ)				
7. 履修上の 留意事項	デザインツールの操作を学び、デザインする楽しさを感じてほしい				
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務 ■デザイン	
後期					
授業科目名	デザインリテラシーⅡ			教員名	小島 智子
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	デザインの基礎を理解し、 Adobe Illustrator, Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ				
2. 科目の 到達目標	①Photoshop の基本的な操作ができる ②Illustrator, Photoshop を使った作品制作ができる ③デザインコンテストに応募し、入選を目指す				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	Photoshop の基本操作			
	第2週	カラーパネルについて、色彩の基本知識			
	第3週	Photoshop 写真補正①			
	第4週	Photoshop 写真補正②			
	第5週	Photoshop 写真加工①			
	第6週	Photoshop 写真加工②			
	第7週	Photoshop 写真合成①			
	第8週	Photoshop 写真合成②			
	第9週	Photoshop ポストカード制作①			
	第10週	Photoshop ポストカード制作②			
	第11週	デザインコンテスト応募制作①			
	第12週	デザインコンテスト応募制作②			
	第13週	デザインコンテスト応募制作③			
	第14週	Illustrator, Photoshop のまとめ			
	第15週	総まとめ			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業中での課題の理解度				60%
	授業に取り組む姿勢				40%
	合計				100%
5. テキスト	「これから始める Photoshop の本」(技術評論社)				
6. 参考文献	「Photoshop よくばり入門」(インプレス) 「レタッチ・加工」(クリエイティブ)				
7. 履修上の 留意事項	デザインツールの操作を学び、デザインする楽しさを感じてほしい				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■T スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務 □デザイン	
前期					
授業科目名	Web マーケティング基礎Ⅰ			教員名	石井 克成
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	本講義は、現代のビジネスにおいて不可欠な「WEB マーケティング」の基礎理論を習得し、実際の企業が抱える課題に対して具体的な施策を立案する実践型カリキュラムです。				
2. 科目の 到達目標	①ビジネスの基本について習得する ②マーケティングの基本について習得する ③WEB マーケティングを実践するための基礎知識を習得する				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	ビジネスとは ビジネスを考える マーケティングとは マーケティングを考える インターネット①（過去・現在） インターネット②（未来） ネットショップ①（ネットショップの基本） ネットショップ②（ネットショップを比較する） ホームページの役割 SNS①（SNS の基本） SNS②（SNS を比較する） WEB マーケティングとは ケーススタディー① ケーススタディー② 期末課題提出			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	出席・授業中の態度			50%	
	期末課題の評価			50%	
				合計	100%
5. テキスト	必要に応じて資料配布				
6. 参考文献	必要に応じて資料配布				
7. 履修上の 留意事項	本講義は「教員から知識を受け取る」時間ではなく、「自ら考え、手を動かす」時間が中心です。 毎回の授業において、自身の意見を言語化し、積極的にアウトプットすることが求められます。				
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務 □デザイン	
後期					
授業科目名	Web マーケティング基礎Ⅱ			教員名	石井 克成
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	本講義は、前期に習得した WEB マーケティングの基礎理論をベースに、生成 AI をフル活用して、実在する企業のマーケティング戦略を「超速」かつ「高精度」に構築する実践型カリキュラムです。				
2. 科目の 到達目標	1.AI 共創スキルの習得 生成 AI をパートナーとして使いこなし、ターゲット分析から広告制作までのマーケティングプロセスを高度に実行できる。 2.プロンプト設計力の向上 課題解決に最適なアウトプットを引き出すための指示（プロンプト）を論理的に構成し、試行錯誤を通じて改善できる。 3.意思決定とディレクション能力 AI が生成した膨大な案の中から、企業の課題解決に最も有効な施策を自ら評価・選択し、一貫性のある企画にまとめられる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	WEB マーケティング概論の復習 商材選択 商材の分析 AI について AI の活用方法 WEB マーケティング戦略の構築（演習） WEB マーケティング戦略の構築（演習） WEB マーケティング戦略の構築（演習） WEB マーケティングツールの構築（HP、SNS 等） WEB マーケティングツールの構築（HP、SNS 等） WEB マーケティングツールの構築（HP、SNS 等） WEB マーケティングツールの構築（HP、SNS 等） WEB マーケティングツールの構築（HP、SNS 等） 成果発表 期末課題提出			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・授業中の態度			50%	
	期末課題の評価			50%	
				合計	%
5. テキスト	必要に応じて資料配布				
6. 参考文献	必要に応じて資料配布				
7. 履修上の 留意事項	本講義は「教員から知識を受け取る」時間ではなく、「自ら考え、手を動かす」時間が中心です。 毎回の授業において、自身の意見を言語化し、積極的にアウトプットすることが求められます。				
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		■ビジネス実務 ■デザイン	
後期					
授業科目名	ビジネスマナーと コミュニケーション			教員名	宇野 悦加
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ビジネス社会において欠かすことのできないビジネスマナーと接遇、 コミュニケーション術を、具体的な事例と共に実践を交えながら学習する。 また、就職活動対策として、立ち居振る舞いや人前での話し方を体得する。				
2. 科目の 到達目標	① 就職活動、社会人必須の「基本的なビジネスマナー全般」「好印象を与える話 し方・言葉づかい」を身につける				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	自己紹介の仕方 第一印象の重要性と好印象を与える立ち居振る舞い 名刺の扱い方 敬語① 敬語② 電話応対 訪問時のマナーと席次 来客応対 好印象を与えるスピーチ 文書の書き方 仕事の正しい進め方 ビジネス敬語、電話応対問題集 ビジネス敬語、電話応対問題集 前期のまとめ 期末試験対策・課題提出			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席と授業態度			40%	
	定期試験の評価			60%	
				合計	100%
5. テキスト	「新秘書特講」(実務技能検定協会)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2026 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		■ビジネス実務 ■デザイン	
前期					
授業科目名	キャリアガイダンス A- I			教員名	小山 久美子
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	働くことや仕事への興味を持つこと、また自己分析や自分の適性を知ること、卒業後どのような職業を目指すか、目標を持てるようにする。				
2. 科目の 到達目標	① 自己の将来を明確にし、希望の進路を実現する。 ② 履歴書作成、面接練習を通じて、社会人としてふさわしい言葉遣い、表現を身につける。 ③ 自己分析を行うことで自身の長所や適性を理解し、キャリア設計に活かす。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	オリエンテーション 働くとは何か 世の中の仕事を知る① 世の中の仕事を知る② 自己理解①（興味・関心） 自己理解②（長所・短所） 価値観の明確化・仕事選びの軸を考える 企業が求める人材とは コミュニケーション力とは何か（どのように身につけるか） 業界研究の方法について 職業調査（興味ある職業について調べる） ミニ発表会（県内企業について、企業説明会の予習として） 前期の授業を振り返る（自己理解、職業について） 就職活動について（就職、採用の流れについて） まとめ			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	課題提出			25%	
	授業姿勢			25%	
	出席率			50%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「ぎふ企業ガイドブック」 「岐阜県就職情報誌 MY PLAN 」				
7. 履修上の 留意事項	自己都合により欠席や遅刻をした場合は必ず内容把握すること。PC 各自用意。				
教員実務経験	■有 □無				

2026年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		■ビジネス実務 ■デザイン	
後期					
授業科目名	キャリアガイダンス A-Ⅱ			教員名	小山 久美子
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	前期のキャリアガイダンスを踏まえ、卒業後の進路を考える。				
2. 科目の 到達目標	① 自己の将来を明確にし、希望の進路を実現する。 ② 履歴書作成、面接練習を通じて、社会人としてふさわしい言葉遣い、表現を身につける。 ③ 自己分析を行うことで自身の長所や適性を理解し、キャリア設計に活かす。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	学内企業説明会を振り返る 県内企業について 企業研究① 企業研究② 求人票の読み方 就職先企業を考える① 就職先企業を考える② 自己PR・志望動機の書き方 自己PR・志望動機を書く 履歴書 インターンシップ 面接について 面接練習 就職希望調査 まとめ			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	課題提出			25%	
	授業姿勢			25%	
	出席率			50%	
	合計			100%	
5. テキスト	「ビジネス能力検定3級」テキスト・参考書				
6. 参考文献	「ぎふ企業ガイドブック」 「岐阜県就職情報誌 MY PLAN 」				
7. 履修上の 留意事項	自己都合により欠席や遅刻をした場合は必ず内容把握すること。PC 各自用意。				
教員実務経験	■有 □無				